

キューバシリーズ 2010-2011 プレーオフ情報①

昨年11月1日に開幕した第50回キューバシリーズ2009-2010シーズンのリーグ戦が3月24日に終了し、3月25日よりプレーオフが始まった。

プレーオフ準々決勝は、西地区が1位のシエン フェゴス(主砲 純 アブレウ) 対 4位のハバナ(代表エース ミゲル ゴンザレス)、2位のピナル デル リオ(A. カルテラ監督-元ジャックス監督) 対 サンクティ スピリトゥス(代表チーム主砲 ジュリエスキ グリエル)。

東地区は、1位のシエゴ デ アビラ(100マイル投手 V. ガルシア) 対 4位ビジャ クララ(マルティン監督-元ジャックス監督)、2位のグランマ(ダブル主砲 デスパイネ、セスペデス) 対 グアナンタナモで行われた。

結果は、シエン フェゴス(4勝1敗)、ピナル デル リオ(4勝2敗)、グランマ(4勝3敗)、シエゴ デ アビラ(4勝3敗)の4チームが準決勝に進出した。

準決勝は4月2週目から、シエン フェゴス 対 ピナル デル リオ、グランマ 対 シエゴ デ アビラの組合せで行われる。

この4チームで、過去に優勝経験があるのはピナル デル リオ(36回、37回大会)のみ

また、10-11シーズンリーグ戦の個人タイトルは、以下のとおりである。

<打撃>

- ・首位打者-アブレウ(シエン フェゴス 23歳) .453
 - *2位エンリケス(イスラ デ フアントウ 32歳) .401
- ・最多安打-モレイラ(グアナンタナモ) 130本
- ・本塁打 -アブレウ 33本 *2位 セスペデス(グランマ 25歳 33本-打数により)
 - ☆33本はキューバ新記録
- ・打点 -セスペデス 99点 *2位 アブレウ 93点

<投手>

- ・防御率-F.A. アルバレス(ビジャ クララ 21歳) 1.89
- ・最多勝-N. ゴンザレス(シエン フェゴス 30歳) 13勝-2季連続
 - ヒメネス(サンクティ スピリトゥス 26歳) 13勝
- ・奪三振-エンテンサ(シエン フェゴス) 97個
 - W. ペレス(イスラ デ フアントウ)

<トピックス>

- ・アブレウ(打率.453、33本)とセスペデス(33本、99打点)が2冠王
- ・2冠王が4シーズン連続(07-08ベル、08-09、デスパイネ、09-10デスパイネ)
- ・20年間キューバ投手陣を支えてきたペドロ ルイス ラソ(ピナル デル リオ 38歳、五輪4大会、WBC2大会)がシーズン前に引退した。257勝は歴代1位、2426奪三振は歴代2位の記録。

以上